

【お願い】 賛助会費 1,200 円（年額）の納入のご協力をお願いします。
赤い振込用紙を使って、お近くの郵便局でお振込み下さい。

岡本スナップ投票ランキング	得票数		
	1日目	2日目	合計
第1位	58	25	83
第2位	36	9	45
第3位	21	21	42
第4位	19	22	41
第5位	24	14	38
第6位	20	13	33
第6位	16	17	33
第8位	15	16	31
第9位	20	8	28
第10位	14	8	22
第10位	9	13	22
第12位	13	8	21
第13位	11	9	20
第13位	15	5	20
第15位	12	7	19
第16位	12	6	18
第16位	16	2	18
第16位	13	5	18
第19位	14	3	17
第19位	13	4	17
第19位	13	4	17
第22位	12	4	16
第23位	8	7	15
第23位	11	3	14
第23位	4	10	14
第26位	5	8	13
第26位	6	7	13
第28位	6	6	12
第29位	8	3	11
第29位	9	2	11
第31位	6	4	10
第32位	6	3	9
第33位	6	2	8
第34位	5	2	7
第34位	4	3	7
第34位	5	2	7
第37位	3	3	6
第37位	1	5	6
第37位	4	2	6
第40位	2	3	5
第40位	5	0	5
第42位	0	4	4
第43位	1	2	3
第43位	2	1	3
第43位	3	0	3
第46位	2	0	2
第47位	1	0	1
第47位	0	1	1
第49位	0	0	0
	509	306	815

■ 地域の人々による
手作りの写真展

8月5、6日の両日、岡本サマーフェスティバルの場内において「岡本らしさ」をテーマに写真展を開催いたしました。口コミによる呼びかけや、ポスターなどから公募を行うことで、地域住民ならではのユニークな作品が多数寄せられました。いつも目にしていない風景も一枚の写真にして改めて見てみると、街の発展を感じさせられるものや、季節を感じるもの、歴史を感じるものなど、当日写真展にいられた方の様子も様々なものでした。

気に入った作品には、それぞれ投票シールをはってもらい、得票の多かった作品を集めてポストカードを作るという趣向。これからも「地域のつながり」をテーマに、いろいろな画を考え、画を考えた、思いを込めます。

(松澤)

上：上位作品（上段左から1,2,3、下段左から4,5）
下：パネルに掲示してドットシールで投票



一目惚れした岡本の街を取り戻したい 住んで働いて誇りの持てる街に

—実行委員長の総括—

ところで皆さん、私達の街岡本の魅力とは一体何でしょう。最近私は、ずっとそのことを考え続けています。

阪神間の閑静な住宅地、おしゃれでさまざまな商店街、そして学生達の集う文教地区。三つの異なるカラーが混じり合った独特の雰囲気、岡本の魅力かも知れません。

十二年前、初めて阪急岡本駅に降り立った瞬間、その華やいだ品のある街の風情に、「絶対ここに住もう！」と私は思いました。街に一目惚れしたのです。それ以来ずっと生活はもちろん、今では仕事の大半もこの岡本の街とともにあります。

しかし、この十二年前の間に、岡本は本当に美しくあり続けてきたのでしょうか。確かに道路は石畳になりました。山手幹線は拡幅され、電柱も無くなりました。けれども緑深い美しい並木は消えました。今は貧弱な街路樹が、ほんの申し訳程度にぼつんぼつと植わっているだけで、注意しないと目にもとまりません。これでは、ガーデンタウンの名が泣きます。大きな派手な看板に不法な立看板、ビラ類も増えました。

協議会創成期の会員の方からは「岡本がどんどん場末の街になっていくのが悲しい」と度々聞かれました。もし十二年前の私が今の岡本を見たとして、絶対ここに住みたいと思うかどうか：

看板がダメというのではないのです。もっと岡本らしいセンスのある看板が見たいのです。



炎天下の中、おでんを販売するPRブースの面々（左から2番目が実行委員長）

電柱と電線の制約のない空には、背の高い大きく立派な木々が映えます。まるで林の中にもまぎれこんだような、そんな並木道を歩きたいのです。そんな街には他所からも素敵な人達が沢山集まります。お店もきつと繁盛するでしょう。

私はやっぱり岡本が好きです。この街がいつまでも美しく、住んで働いて誇りの持てる街であってほしいと願っています。

皆さんの知恵と力を協議会にお貸しいただけませんか。

(終)

リレー連載・岡本人語

美しい街岡本協議会 事務局長 田畑 英樹

②

前回のこのリレー連載に執筆されました橋谷会長からバトンをいただきました。

昨年は会計という役割を任せられ、本職ではお金を扱うことが日常の業務ですが、協議会のお金は一般の団体のお金とは異なり公金であるということ、その扱いについて躊躇しながらも何とか総会の会計報告へ辿り着けた、そんな一年目でした。

子どもの頃から住み、慣れ親しんできた岡本の街ですが、多くの人々や建物が移り変わり風景が変化していく中で、現在の岡本の街の岡本らしさについて、この協議会の活動を通して、会員の方々と同じ視線で共に考えていきたいと思っています。

そして住民の皆様をはじめ会員の方々の声や息づかいの感じられるあたたかな街にしていきたい、微力ながら少しでもお手伝いができればいいなと思っています。

「美しい街岡本協議会」の「美しい」の意味には、単に景観だけではなく訪れる人々が美しい気持ちになれる街、漠然とですがそんな風に感じています。これからの活動として、会員の皆様との出会いの場を増やしていく予定ですので、是非ご参加ください。お待ちしております。